

ピアノ奏者の長谷川幹人さん 三松小学校で音楽の楽しさ伝える



長谷川さんは、翌25日には本市出身の舞台俳優で歌手の井料瑠美さんと「夢ふれあいコンサート」を文化会館で開催。音楽の力で小林市を盛り上げました

童謡や昭和歌謡、ミュージカルの伴奏など、幅広く活躍しているエレクトーン・ピアノ奏者の長谷川幹人さんを招いたピアノ教室が11月24日、三松小学校で開催されました。教室には同校の5・6年生約150人が参加。長谷川さんは、ピアノを吹く息の強弱の重要性や合奏へのアドバイスなど、自身の演奏を見本に教えていました。

※当事業はNPOパートナーシップ創造事業補助金を活用した取り組みです

中村大輝さんが県共乳用種牛の部で リザーブジュニアチャンピオン

11月27日、小林地域家畜市場で「第64回宮崎県畜産共進会」の乳用種牛の部が開かれました。全6部門59頭のうち、小林市からは3部門に4頭が出品。審査の結果、中村大輝さんが第2類で優等賞首席を獲得し、各類の未經産牛から選ばれる「ジュニアチャンピオン」に次ぐ、「リザーブジュニアチャンピオン」に選ばれました。



同時開催の「畜産まつり」では物産品販売や消費拡大コーナーも設置され、県産牛乳を使ったクリームシチューや牛モツ鍋の振る舞いも行われました

租税教育の推進に多大な貢献 須木小学校に熊本国税局長感謝状

11月16日、「税を考える週間」に合わせ、小林税務署長納税表彰式がガーデンベルズ小林で行われました。式では、納税思想の高揚や税知識の普及、酒類行政の円滑な運営などに多大な功績のあった個人や団体、「税についての作文」の入賞者などが表彰され、租税教育に長年取り組んでいる須木小に熊本国税局長感謝状が贈られました。



須木小では平成22年度以降連続して租税教室を開催。受講した児童全員が租税作品に応募するなど、租税教育の推進に貢献したとの評価を受けました

三松中学校で東大教授の特別授業 人工知能など先端技術を学ぶ



隈本利乃さん(2年)は「身近に感じていなかったけど、Chat-GPTなどの技術を活用することで、より生活が豊かになることが分かった」と話しました

11月24日、市と連携協定を結ぶ東京大学先端科学技術研究センターの牧原出教授、松原仁教授を講師に迎えた特別授業が三松中で開催されました。授業は世界的に活用されている先端技術の知識を学ぶことで、将来活躍する人材の育成を目的に企画したもので、生徒らは人工知能(AI)や行政内部の仕組みなどについて学びました。

社会福祉の発展・振興に尽力した 個人・団体が県知事表彰など受賞



11月7日、宮崎観光ホテルで宮崎県社会福祉大会が開催されました。大会では、長年にわたり社会福祉の発展・振興に尽力したとして宮崎県知事表彰、宮崎県社会福祉協議会会長表彰・感謝、宮崎県共同募金会会長表彰・感謝の顕彰が行われ、市内からは個人26人と6団体が受賞しました。

【受賞者・受賞団体(敬称略)】

- 県知事表彰(社会福祉功労)** 吉脇辰男、龍神豊美、南蘭ヨシエ、宮原善朗、池田浩子、橋口正機
- (社会福祉事業功労) 倉元美幸、田爪真由美、大牟田博昭、隈元小百合、中ノ神美代子、田爪けい子
- 県社会福祉協議会会長表彰(民生委員)** 大塚明男
- (民間(施設)) 坂本加代子、河端正美、佐藤弘子、指宿恵子、元澤小百合
- (民間(社協)) 村北幸代、白崎由香里、田中恵美子、川俣幸治、川嶋厚美、室屋喜久美
- (ボランティア(団体)) 小林市地域婦人連絡協議会
- 県共同募金会顕彰(優良地区表彰)** 堂屋敷地区、西町二区、北西三区、野尻三区、南堤区
- (篤志寄付感謝状) 関谷恵子ほか1名

防災訓練や餅つき大会で地域住民ら交流

「第9回みかんやまスマイルフェスタ」が、11月25日、栗須小で開かれました。地域での交流や防災意識の向上を目的に実施したもので、当日は同校児童や保護者、消防団員など約400人が参加。芋煮や餅のふるまい、簡易ベッドの組み立て演習などが行われました。



地域とともに歩んで150年 三松小学校・紙屋小学校で記念式典

三松小学校と紙屋小学校が創立150周年を迎えることにあわせ、11月12日に三松小、11月19日には紙屋小で記念式典が開催されました。2校は、明治5年(1872年)公布の学制に基づき明治6年に創立。式典では、児童による合唱や音読、地域や学校の歴史の発表、記念講演などが行われ、地域住民とともに150年の節目を祝いました。



写真①三松小4年生による「エーデルワイス」「ドレミの歌」の演奏・合唱

写真②紙屋小6年生による「紙屋小の歴史」についての発表

JR吉都線×サイクルロゲイニング

11月19日、小林市・えびの市・高原町のチェックポイントを自転車で自由散策する「サイクルロゲイニング in 北霧島2023」が開催されました。列車に自転車を積み込むことができる大会に、多くの家族連れが参加。参加者は北霧島の自然や食を満喫しました。



小林の冬を彩るイルミネーション

11月23日、小林駅周辺をイルミネーションで彩る「こばやし冬まつり2023」が開催されました。同日は小林まちづくり株式会社主催の「ILLUMINACHRISTMAS2023」も開催され、多くの来場者でにぎわいました。イルミネーションは1月12日まで点灯しています



小林中陸上駅伝部が県中学校駅伝大会で初のアベック優勝 九州大会では男子が初優勝し「駅伝のまちこばやし」を広くアピール



12月11日、小林中陸上駅伝部が、九州中学校駅伝競走大会の結果報告と全国中学校駅伝大会への出場報告のため、市長を表敬訪問しました。同部は11月13日の宮崎県中学校駅伝大会で男子が3年連続、女子が5年ぶりの優勝。小林中として初の男女アベック優勝を果たし、12月17日に開催される全国大会への出場権をつかみ取りました。また、12月2日に開催された九州中学校駅伝競走大会では男子が初優勝。宮崎県勢としては11年ぶり、3度目の九州大会優勝で、「駅伝のま

ちこばやし」を県内外に広くアピールしました。チームを全国大会に導いた國丸泰司監督は大会を振り返り、「選手たちは自分たちの力をしっかりと発揮してくれた。全国大会でも素晴らしい結果を残してくれると信じている」と話しました。



- 九州大会で初優勝のゴールテープを切るアンカーの齊藤元さん（3年）
 - 九州大会終了後、笑顔で写る男女チーム
- 全国大会への抱負**
男子代表 今村流士郎さん（2年）「宮崎県代表としての自覚を持ち、応援して下さる方々への感謝を忘れず3位入賞を目指します」。
女子代表 鶴結葉さん（2年）「一人ひとりが過去の自分を超越、次の区間へとたすきをしっかりとつなぐことを大切にがんばってきます」。

（株）加藤牧場のカマンベールチーズ チーズコンテストで優秀賞を獲得

市内の酪農家でチーズやヨーグルトなどの販売業も営む株式会社加藤牧場（加藤教昭代表）が10月25日、26日に開催された第14回 ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテスト（白カビ部門）で優秀賞を獲得し、12月18日に市長へ報告しました。加藤代表は「驚きとうれしい気持ち。今後もより上の賞を目指していきたい」と話していました。



ジャージー牛の搾りたての生乳を使ったカマンベールチーズは風味豊かな仕上がり。「クリーミーでバターを食べているようだ」と高く評価されました。

地域への長年の功労を称える 倉田富夫さんが総務大臣表彰を受賞



倉田さんは、細野一区区長を12年、区長会会長を6年務め、長年地域住民の福祉向上や住民自治の振興、行政と市民の橋渡し役などに尽力されました。

11月30日、自治会や町内会などの代表者として長年にわたり功績のあった個人を表彰する「地縁による団体功労者総務大臣表彰」を倉田富夫さんが受賞し、12月7日、市長に報告しました。倉田さんは表彰を受けて「大変ありがたいこと。これからも地域のためにできることはなんでもやっていきたい」と話していました。

3年間の感謝を込めて 西高調理科生徒が腕前を披露



中国料理担当の村岡七穂さんは「細やかな気づかいを心掛けました。直接顔を見ながら、ありがとう、おいしいと言ってもらえてうれしい」と笑顔でした。

12月6日、小林西高校で同校調理科3年生による「学習成果発表会および試食会」が開かれました。卒業を前に生徒たちの成長を披露する場として開かれたもので、5班に分かれた生徒16人は前日から仕込みを行い、日本料理や西洋料理、中国料理の3種類27品を準備。当日は、保護者など約50人に3年間磨いた技術を披露しました。

クリスマスイベントで国際交流体験

12月5日、中央公民館で国際フレンドシップ事業が開催されました。当日は小学生約70人が国際交流員、ALT（外国語指導助手）と交流。子どもたちは、それぞれ持ち寄ったプレゼントを交換するゲームや、クリスマス風の飾りづくりなどを楽しみました。



J Aこばやしがメロン選果機を更新

12月11日、J Aこばやし（寺師幸則代表理事組合長）のメロン選果機リニューアル稼働式が行われました。稼働開始から約16年が経過し、経年劣化が進んでいた選果機を更新。「めろめろメロン」など、小林市産メロンのブランド力向上への貢献が期待されます。



P T Aとまちづくり協議会が連携 シン・小林小まつり5年ぶりに開催

12月2日、「シン・小林小まつり」が開催されました。以前は恒例行事として毎年開催されていた「小林小まつり」も、新型コロナの影響で開催は5年ぶり。当日は地域の名人たちを講師に迎え、茶道教室やリースづくり、グラウンドゴルフなど、さまざまな体験活動を実施。子どもたちは活動とおして、地域住民との交流を深めました。



当日の午後は、P T A主催の飲食の販売やスポーツ少年団の紹介、物品バザー、まち協が行うニジマス釣り大会などで会場は盛り上がりました。

年末年始の安心・安全守るひなもり隊発隊

12月1日、年末年始特別警戒取締隊「ひなもり隊」発隊式がありました。同隊は、凶悪犯罪や飲酒運転が増える年末年始に警察や関係団体などが協力し、警戒を強化するもの。甲斐義勝小林警察署長の訓示の後、参加者は市内のパトロールを行いました。



市民活動支援センター文化祭を初開催

12月2日、八幡原市民総合センター内で「第1回小林市市民活動支援センター文化祭」が開催されました。同センターを利用する団体の作品展示やステージイベントのほか、MR Tラジオの公開生放送も行われ、会場は多くの家族連れでにぎわいました。

